

令和6年度

古文書修復 ビフォア・アフター

小平の古文書

小平市立図書館は昭和 50 年の開館以来、役 3 万点の古文書を整理してきました。特に小平市域で最初に開かれた小川村の名主家『小川家文書』は総数 1 万点を超え東京都文化財に指定されています。

古文書の修復

図書館では平成 2 年から平成 18 年まで古文書の修復事業を継続して行いましたが 15 年余中断後、一昨年度から都の補助金を得てこの事業を再開しています。今年度は小川家文書、當麻家文書など計 10 点を「リーフキャスティング」などの技法で修復しました。

リーフキャスティングとは

古文書の修復方法の一つ。虫食いや汚破損の見られる資料に対し、紙漉きの原理で修復用繊維（国産楮）を流し込み修復する方法。元の紙の厚さを維持し、修復過程で汚れやほこりが洗浄され文字が読みやすくなる。紙を漉きなすため虫食いや汚破損の無い状態に戻る。修復の費用・時間が軽減される。などの利点があります。



古文書は地域の文化遺産

古文書は地域を知る上で大切な歴史資料であり、市民共有の文化遺産です。しかし様々な理由で消失、破損のリスクがあり、少しでも永く良い状態で保存することが現代を生きる私たちの責務といえるでしょう。古文書の劣化の要因は温度・湿度、紫外線、チリ・埃、虫、カビ、災害、と様々です。修復する以外に、保存環境を整え予防措置を講ずることが大切です。



【リーフキャスティング】 ①現状撮影、②劣化損傷調査書作成、③解体、④補修紙除去、⑤洗浄、⑥リーフキャスティング、

⑦裁断、⑧再製本の工程を経て完成します。

（写真提供：東京修復センター）

①②③

修復前の撮影、及び記録調査書の作成。⇒



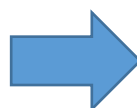
④補修紙除去

虫損が激しい箇所
に貼られた補修紙
を裏側から加湿し
除去する⇒



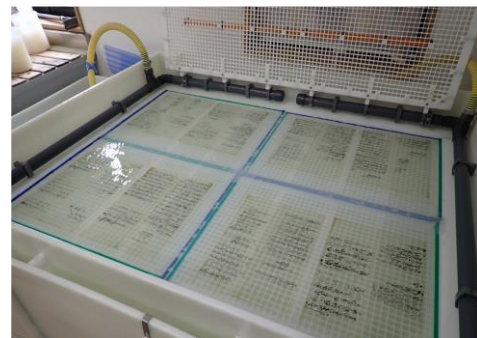
⑤洗浄

シミが付着した文書を
温水に浸し、汚損物質
を取り除く。浸した
水が透明になるまで
水を替える。⇒



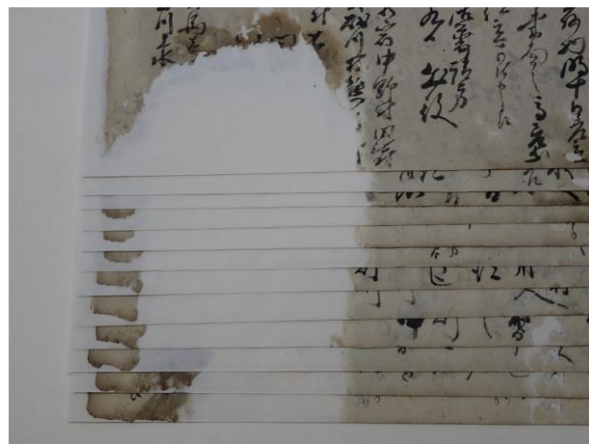
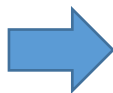
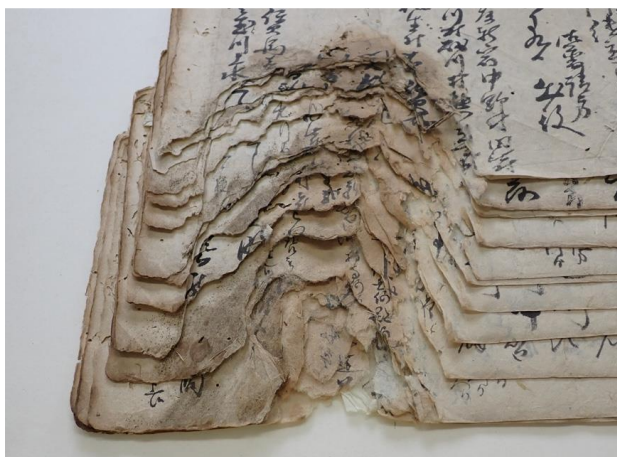
⑥リーフキャストイングの準備作業

虫損の周囲に付着した虫糞を薬剤で除去。虫損での穴あき箇所や分離した紙片を修復用和紙と糊（正麩糊とメチルセルロースの混合糊）で固定。紙が脆弱化した部分に極薄の和紙を貼付。さらに文字の部分を元の位置に同定しシワを平坦化。➡

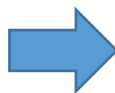
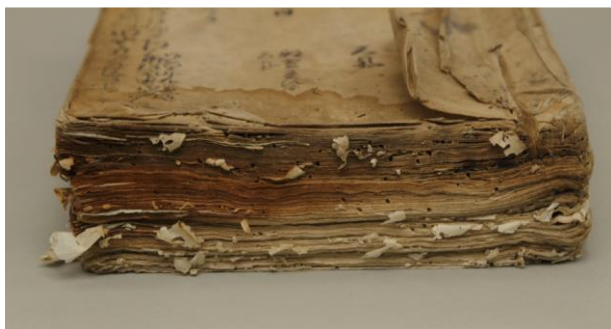


⑥リーフキャストイング

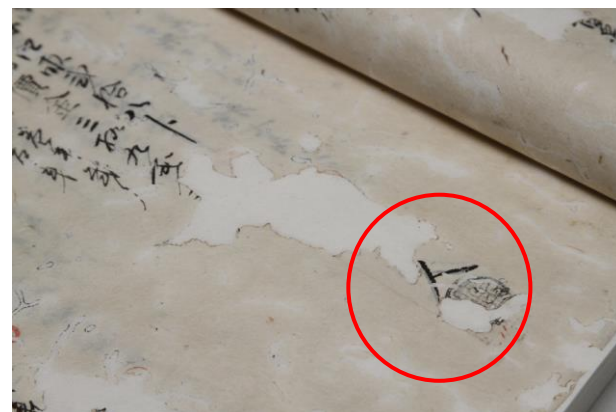
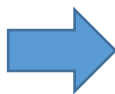
[修復ビフォア・アフター]



数ページにもわたる欠損箇所がきれいに修復されました。



紙片がとび出てサイズもバラバラだった書冊。



劣化のため固着してしまった紙を貼り直した後リーフキャストイングを施すと、文字が読めるように。